

あぶしん景況レポート

2023年7～9月期



総合企画部

Vol.13 2023.10発行

当地区の概況

【業種別天気図】

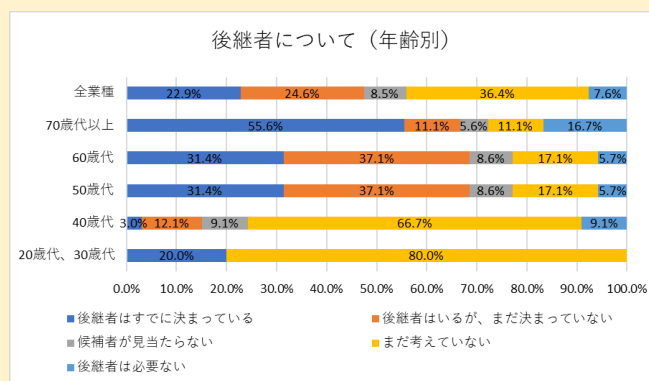
調査対象:120社

業種別	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
2023年 4～6月								▲ 16.7
2023年 7～9月								▲ 19.2
2023年 10～12月 (見通し)								▲ 10.0

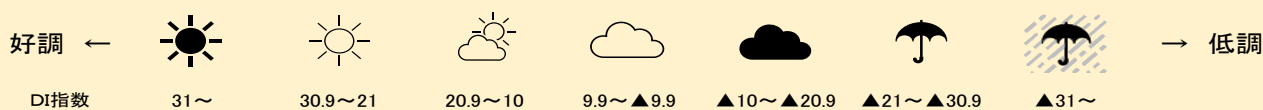
- 2023年7～9月期(今期)の業況判断D.I.は▲19.2と、前期比2.5ポイントの悪化となった。業種別にみると、卸売業は前期比33.4ポイントの大幅悪化となった。
- 2023年10～12月期(来期)の予想業況判断D.I.は▲10.0と、今期実績比9.2ポイントの改善を見込んでいる。業種別では、サービス業を除く5業種で改善の見通しとなっている。

特別調査 - 中小企業の将来を見据えた事業承継について

- 後継者の決定状況については、「後継者はすでに決まっている」が22.9%、「後継者はいるが、まだ決まっていない」が24.6%、「まだ考えていない」が36.4%となった。経営者の年齢階層別にみると、「後継者はすでに決まっている」は70歳代以上で55.6%、60歳代で31.4%にとどまった。
- 事業承継を行う際の問題点としては、事業の将来性が25.4%と最も多くなった。



【業況判断天気図】



業況判断D.I.指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくは<あぶしん>
各支店へ！



携帯・スマートフォンの方はQRコードを！
情報満載、ホームページをご覧ください。
あぶしん
<http://www.abukuma.co.jp/>



製造業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	5.0	30.0	25.0	35.0	5.0	▲ 5.0
	実績	5.0	20.0	35.0	30.0	10.0	▲ 15.0
来期 (10-12月)	予想	5.0	30.0	20.0	40.0	5.0	▲ 10.0

今期の業況判断D.I.は、前期(実績)と変わらず▲15.0となった。来期(予想)D.I.は5.0ポイント改善の▲10.0となった。受注は確保できているが、原材料の高騰や人件費の増加が課題となっている。

○経営課題

(複数回答)

項目	今期	前期
1 原材料高	65.0%	70.0%
2 売上の停滞・減少	35.0%	40.0%
3 人件費の増加	30.0%	25.0%

○重点経営施策

(複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	60.0%	55.0%
2 経費を節減する	55.0%	45.0%
3 人材を確保する	30.0%	30.0%

卸売業

業況判断D.I.

調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	0.0	11.7	58.8	23.5	5.8	▲ 17.6
	実績	0.0	11.1	50.0	38.8	0.0	▲ 27.8
来期 (10-12月)	予想	0.0	5.5	72.2	22.2	0.0	▲ 16.7

今期の業況判断D.I.は、前期(実績)より大幅に悪化し33.4ポイント悪化の▲27.8となった。来期(予想)D.I.は▲16.7と11.1ポイント回復の見込み。重点経営施策では販路を広げると回答した企業の割合が大幅に増えた。

○経営課題

(複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	50.0%	50.0%
2 同業者間の競争の激化	38.9%	33.3%
3 利幅の縮小	33.3%	44.4%

○重点経営施策

(複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	88.9%	61.1%
2 経費を節減する	33.3%	50.0%
2 情報力を強化する	33.3%	38.9%

小売業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	0.0	19.0	57.1	23.8	0.0	▲ 4.8
	実績	0.0	9.5	66.6	19.0	4.7	▲ 14.3
来期 (10-12月)	予想	0.0	14.2	66.6	14.2	4.7	▲ 4.8

今期の業況判断D.I.は▲14.3と前期(実績)より4.7ポイントの改善となった。仕入価格の上昇により、重点経営施策に仕入先を開拓・選別すると回答した企業が多かった。

○経営課題

(複数回答)

項目	今期	前期
1 利幅の縮小	47.6%	28.6%
2 売上の停滞・減少	33.3%	38.1%
3 人手不足	28.6%	33.3%
3 人件費の増加	28.6%	14.3%

○重点経営施策

(複数回答)

項目	今期	前期
1 経費を節減する	42.9%	38.1%
2 人材を確保する	23.8%	33.3%
3 品揃えを改善する	23.8%	28.6%
3 仕入先を開拓・選別する	23.8%	4.8%

サービス業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	0.0	25.0	55.0	20.0	0.0	5.0
	実績	0.0	15.0	50.0	30.0	5.0	▲ 20.0
来期 (10-12月)	予想	0.0	15.0	50.0	30.0	5.0	▲ 20.0

業況判断 D.I. は前期（実績）より 10.0 ポイント悪化し ▲20.0 となった。今期（予想）では新型コロナウイルスの5類化により大幅改善が見込まれたが、実際は人件費の増加等の影響で業況は厳しい見方となった。

○経営課題

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	売上の停滞・減少	45.0%	50.0%
1	材料価格の上昇	45.0%	40.0%
3	人手不足	30.0%	35.0%

○重点経営施策

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	経費を節減する	50.0%	35.0%
2	販路を広げる	35.0%	35.0%
2	宣伝・広告を強化する	35.0%	30.0%

建設業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	0.0	19.0	33.3	42.8	4.7	▲ 28.6
	実績	4.7	14.2	38.0	42.8	0.0	▲ 23.8
来期 (10-12月)	予想	4.7	9.5	57.1	23.8	4.7	▲ 14.3

業況判断 D.I. は前期（実績）より 19.1 ポイント改善の ▲23.8 となった。材料価格の高騰と人手不足に苦慮する企業が多い。来期（予想）D.I. は 9.5 ポイント改善の ▲14.3 だった。

○経営課題

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	売上の停滞・減少	52.4%	42.9%
1	材料価格の上昇	52.4%	33.3%
2	人手不足	47.6%	42.9%

○重点経営施策

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	61.9%	66.7%
2	経費を節減する	47.6%	38.1%
3	販路を広げる	42.9%	42.9%

不動産業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (7-9月)	予想	0.0	0.0	85.0	15.0	0.0	▲ 15.0
	実績	0.0	5.0	75.0	20.0	0.0	▲ 15.0
来期 (10-12月)	予想	0.0	15.0	75.0	10.0	0.0	5.0

業況判断 D.I. は前期（実績）と変わらず ▲15.0 だった。収益は安定しており、来期（予想）D.I. は 20.0 ポイント改善の 5.0 となった。経営課題では利幅の縮小の割合が高まった。

○経営課題

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	利幅の縮小	40.0%	15.0%
2	同業者間の競争の激化	35.0%	35.0%

○重点経営施策

(複数回答)

	項目	今期	前期
1	情報力を強化する	30.0%	25.0%
1	販路を広げる	30.0%	25.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

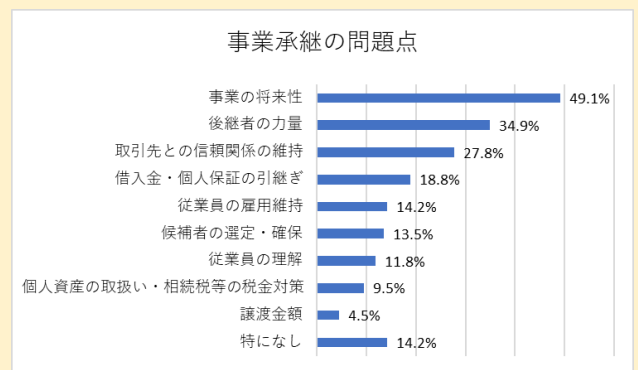
回答社数: 13,352社

		総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
全国	2023年 4～6月								▲ 7.4
	2023年 7～9月								▲ 7.0
	2023年 10～12月 (見通し)								▲ 4.4
東北	2023年 7～9月								▲ 18.0

- 全国の 2023 年 7～9 月期（今期）の業況判断 D. I. は▲7.0、前期比 0.4 ポイント改善と、コロナ前の水準を回復するなかで小幅改善した。2023 年 10～12 月期（来期）の予想業況判断 D. I. は▲4.4、今期実績比 2.6 ポイントの改善を見込んでいる。
- 東北地区の 2023 年 7～9 月期（今期）の業況判断 D. I. は▲18.0 と、前期比 1.1 ポイント改善した。2023 年 10～12 月期（来期）の予想業況判断 D. I. は▲15.1 と、小幅の改善を見込んでいる。

特別調査 - 中小企業の将来を見据えた事業承継について -

- 後継者の決定状況については、「後継者はすでに決まっている」が 26.2%、「後継者はいるが、まだ決まっていない」が 21.4%となった。
- 事業承継を行う際の問題点については「事業の将来性」が 49.1%と最も多くなった。地域や従業員規模、業種を問わずほぼすべての階層で最も多くの回答を集めており、事業の将来性が事業承継に当たっての最も大きな問題点であるといえる。



全国の調査員からのコメント

- 住宅ローン金利の上昇見通しや、住宅の省エネ義務化を受けて駆け込み需要がある。
(木造建築工事 北海道)
- 事業承継に関して、借入金や個人保証の引継ぎに不安を持っている。(不動産賃貸仲介 岩手県)

【調査要領】

1. 調査時期 2023 年 9 月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断 D. I. は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断 D. I.)を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員 20 人未満の企業が約 7 割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。